

◆ 第10回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

<p>会議次第</p>	<p>1 開会 2 委員紹介 3 事務局からの説明     (1) OPEN NUMAZU 2022 STREET の実施結果の報告     (2) OPEN NUMAZU 2022 ARCADE の実施概要の説明     (3) 令和4年度の検討事項 4 意見交換 5 閉会</p> 
<p>委員の主な意見</p>	<p><u>OPEN NUMAZU 2022 STREET の実施結果について</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 自転車が通行する幅が狭かったので、次回は見直したほうが良い。</li><li>● イスやテーブルを置き滞在空間をつくったことで、周辺の滞留者数が増加したのは良い傾向である。滞留者数と併せてイスやテーブルの数についても掲載した方が良かった。</li><li>● まちづくり戦略への賛同を得ていくためにも、周辺事業者の意見も聞いた方が良い。</li></ul> <p><u>OPEN NUMAZU 2022 ARCADE の実施概要について</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● イベントだと思われたいよう、ヒト中心の公共空間創出に向けた社会実験であることをもっと発信した方が良い。</li><li>● 人々が中心市街地に何を求めて来ているのか把握したほうが良い。</li><li>● 徒歩圏外の人々を呼び込むためにも自動車で来場することを考慮した方が良い。</li><li>● 社会実験で何を検証し何を明らかにしたいのか、もっと明確に示したほうが良い。</li><li>● 社会実験では、道路空間の活用と併せて、沿道のお店にお客さんが入っていくような仕掛けを個々の店舗で行ってくれれば良い。</li></ul> <p><u>令和4年度の検討事項について</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● まちづくり戦略に関する情報発信について、一方的に発信するのではなく、SNS等により読み手側の意見をもらえるようなかたちで発信することが大事である。</li></ul> <p><u>その他まちづくり戦略の推進に係る意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 社会実験の実施頻度を上げて、認知度を上げていくことも検討してほしい。</li><li>● 沼津駅と沼津港を結ぶ道路が重要であり、回遊性を向上するために中央公園や沼津港へ人を動かすような社会実験も検討した方が良い。</li><li>● 沼津駅周辺の企業やその従業員にも社会実験に協力してもらうことを検討してみてもどうか。例えば、従業員の方たちに通勤手段として公共交通を使っていただくようなことも、社会実験で実施していけたら良いと思う。</li><li>● 社会実験をやると、どこからともなく子ども連れのお母さんたちが現れる。まちに子どもがいると明るい雰囲気になるので、社会実験はどんどんやってみたら良いと思う。</li></ul> <p style="text-align: right;">以上</p>